



2018年3月6日

<報道関係各位>

BSA | The Software Alliance

## BSA 加盟企業、大阪府内の製造業者との間で調停成立

BSA | The Software Alliance(本部: 米国ワシントン DC、以下 BSA)は本日、ビジネスソフトウェアの著作権侵害に関し、BSA 加盟企業であり著作権者のマイクロ ソフトコーポレーション(以下、権利者)と大阪府内の製造事業者(以下、A 社)との間で、2018年1月12日付けで大阪簡易裁判所において調停を成立したことを発表しました。

本事案の端緒は、2016年9月頃に、BSA が開設する「情報提供窓口([www.bsa.or.jp/report/](http://www.bsa.or.jp/report/))」に提供された組織内不正コピーに関する具体的かつ詳細な情報でした。この情報をもとに、権利者は代理人を通じて、A 社に対しその保有・管理するパソコンへのソフトウェアのインストール状況とライセンス保有状況について、再三にわたり、調査の実施を求めました。これに対して A 社からは一切の応答がなされなかったため、権利者の代理人はやむを得ず 2017年5月31日、大阪簡易裁判所に調停の申し立てを行いました。しかし、調停手続きでも A 社側からは綿密な調査結果は提出されませんでした。

権利者の代理人は、A 社と協議した上で、その設置・管理する PC に対して任意の調査を実施しました。その結果、当初の調停手続きにおける A 社の調査結果を上回る本数の Microsoft Office (XP、2007、2010、2013)の違法複製が判明しました。今回の調停は、この結果を踏まえたものです。

ソフトウェアの不正コピーは、健全なソフトウェア開発のサイクルのみならず、雇用や経済活動にも悪影響を及ぼし、ひいては安全で信頼できるデジタル社会実現をも阻む大きな問題でもあります。BSA は、適切なライセンス管理を行っている正規ユーザーを保護するためにも、ソフトウェアの不正コピーを使用または放置する企業に対し、引き続き法的な手続も視野に入れた権利行使の支援を徹底してまいります。

### 【組織内の不正コピーについて】

企業や学校、病院など複数のコンピュータでソフトウェアを使う組織内における不正コピーのことを指しています。現在日本でもっとも多く見られるソフトウェアの不正コピー形態でもあります。例えば、1 台のコンピュータでのみ使用することが許諾されたソフトウェアのパッケージを入手して複数のコンピュータにインストールするような場合がこれに該当します。

### 【違法告発.com について】

「違法告発.com」([www.145982.com/](http://www.145982.com/))は、組織内の不正コピーの実態と情報提供の安全性等を広く訴求することを目的にしたマイクロサイトです。過去の通報案件をヒントに組織内における不正コピーの手口を読み切り漫画で紹介する「違法コピーのある風景」、BSA 日本担当顧問が情報提供の安全性やポイントをお答えする「BSA への情報提供が安心な 4 つの理由」、不正コピーの通報経験者へのアン

ケートを基に、通報から不正コピー使用状態の改善までの貴重な体験談まとめた「私が決断した理由」の、3つのコンテンツで構成されています。

#### 【「C-SAM ポータル」、「P-SAM ポータル」について】

BSA がソフトウェア資産管理(SAM) 推進のために開設した SAM 情報ポータルサイトで、民間企業向けを「C-SAM ポータル ([www.bsa.or.jp/csamportal/](http://www.bsa.or.jp/csamportal/))」、公共機関向けを「P-SAM ポータル ([www.bsa.or.jp/psamportal/](http://www.bsa.or.jp/psamportal/))」としています。どちらも、1)ドキュメント・ライブラリ、2)SAM 構築支援会社の紹介、3)講師紹介受付、という3つの SAM 支援メニューで構成されており、SAM の理解に役立つだけでなく、担当の方がすぐにでも着手できるよう、構築手順書や規程、記録、基本台帳等といった SAM 運用文書・帳票類を無償公開するとともに、SAM の専門家等の紹介も行っているのが特徴です。

#### 【BSA | The Software Alliance について】

BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス)は、政府やグローバル市場において、世界のソフトウェア産業を代表する主唱者です。BSA の会員は世界で最もイノベティブな企業で構成されており、経済を活性化させ、現代生活を向上させるソフトウェア・ソリューションを創造しています。ワシントン DC に本部を置き、60 カ国以上で活動する BSA は、正規ソフトウェアの使用を促進するコンプライアンス・プログラムを先導し、技術革新の推進とデジタル経済の成長を促す公共政策を提唱しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

ホームページ : <http://bsa.or.jp/>

マイクロサイト : <http://145982.com/>(違法告発.com)

Twitter 公式アカウント: [https://twitter.com/BSA\\_100/](https://twitter.com/BSA_100/)

Facebook 公式ページ: <https://www.facebook.com/BSATheSoftwareAllianceJapan/>

#### 組織内不正コピーに対する BSA の取り組み

BSA では組織内不正コピーの問題解決を目的に、一般から組織内不正コピーに関する情報を受付ける「[情報提供フォーム](#)<sup>\*1</sup>」を設置しており、現在、有力情報に最高 100 万円<sup>\*2</sup>を提供する「報奨金プログラム」を実施しています。

\*1 情報提供フォームのリンク先 URL:

[https://reporting.bsa.org/r/report/add.aspx?src=jp&ln=ja-JP&\\_ga](https://reporting.bsa.org/r/report/add.aspx?src=jp&ln=ja-JP&_ga)

\*2 報奨金の提供には一定の条件があります。詳しくは、同サイト内の「報奨金の適用条件」をご確認ください。

#### 【掲載時の読者のお問合せ先】

BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス: [bsa.or.jp](http://bsa.or.jp)